



研究者名※	山下 絢 YAMASHITA Jun	学位※	修士(教育学)(東京大学) 博士(文学)(早稲田大学)
所属※	人間社会学部教育学科	職名※	准教授
連絡先	yamashitaj@fc.jwu.ac.jp		
researchmap※	https://researchmap.jp/j-yamashita		
研究分野※	教育行政学、教育社会学、教育経済学		
研究キーワード※	教育格差、教育政策、学校選択制、少人数学級、早生まれ、ソーシャル・キャピタル、国際比較		
共同研究・競争的資金等の研究課題	「エビデンスに基づく教育政策の評価に関する実証的研究」『科学研究費補助金(基盤研究 C)』(2022-2026年度)		
社会貢献・産学官連携活動等	(1) 文部科学省「少人数学級・外部人材活用に関する効果検証」リサーチ・マネージャー (2) 国立教育政策研究所・フェロー (3) 国立教育政策研究所「『データ駆動型教育』の課題と実現可能性に関する調査研究」所外委員 (4) 日本学校改善学会・理事		
受賞歴	(1) 日本教育行政学会・学会賞(2021年) (2) 日本教育行政学会・研究奨励賞(2010年) (3) SPSS研究奨励賞応募論文・優秀賞(2007年)		

研究領域	教育行政学、教育社会学、教育経済学	(SDGs) 4 質の高い教育をみんなに 10 人や国ごとの格差なく豊かに
研究テーマ※	教育の政策評価	
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	学校選択制、少人数学級、ICTの活用等、国際的にも注目される教育政策を分析対象として、教育行政学、教育社会学、教育経済学的手法を用いて、その実態と帰結の究明を試みています。データ分析による教育政策の評価を通じて、教育格差の是正に資する実証研究を志向しています。	
本研究関連特許・論文等	<p>【教育格差に関する研究】</p> <p>(1) 山下絢(2021)「『平等』なはずの義務教育にも学校間格差がある」中村高康・松岡亮二・編『現場で使える教育社会学：教職のための「教育格差」入門』ミネルヴァ書房, pp. 64-81</p> <p>(2) Yamashita, J and Masuyama, M. (2019) “Socioeconomic Status and School Readiness in Japan” <i>Journal of School Improvement and Leadership</i>, 1, pp.108-124</p> <p>(3) 山下絢・中村亮介(2016)「親の学校参加と子どもの学力：：ソーシャル・キャピタルは学力形成にどのような影響を与えるか？」赤林英夫・直井道生・敷島千鶴・編『学力・心理・家庭環境の経済分析』有斐閣, pp. 205-221</p> <p>【学校選択制に関する研究】</p> <p>(4) 山下絢(2021)『学校選択制の政策評価：教育における選択と競争の魅惑』勁草書房</p> <p>【少人数学級に関する研究】</p> <p>(5) 山下絢(2021)「少人数学級の効果に関するエビデンス」本図愛美・編『グローバル時代のホールスクールマネジメント』ジダイ社, pp. 42-59</p> <p>(6) 山下絢(2008)「地方分権改革下における自治体教育政策過程：少人数教育を事例としたイベント・ヒストリー分析」『東京大学大学院教育学研究科教育行政学論叢』27, pp. 145-154</p> <p>【早生まれに関する研究】</p> <p>(7) 山下絢(2013)「子どもの生まれ月と親の階層・教育意識」日本教育学会『教育学研究』80(3), pp. 322-332</p> <p>【国際比較に関する研究】</p> <p>(8) Olczyk, Melanie & Schneider, Thorsten & Washbrook, Elizabeth & Akabayashi, Hideo & Boinet, Cézarine & de la Rie, Sanneke & Kameyama, Yuriko & Keizer, Renske & Nozaki, Kayo & Panico, Lidia & Casoni, Valentina & Shikishima, Chizuru & Solaz, Anne & Volodina, Anna & Yamashita, Jun & Waldfogel, Jane & Weinert, Sabine. (2021). “National context and socioeconomic inequalities in educational achievement.” <i>INED Working Papers Series</i>, pp.1-51.</p> <p>(9) Nakamura, R., Yamashita, J., Akabayashi, H., Tamura, T. and Zhou, Y. (2020). “A comparative analysis of children’s time use and educational achievement”. <i>Chinese Journal of Sociology</i>, 6(2), pp.257-285</p>	
共同研究・外部機関との連携への期待	・EBPM(科学的根拠に基づく政策立案) ・教育に関する実証データの収集	